

まちネット 寄居

私たちが発信しよう 私たちのまちづくり

さあ 手をつなご!

まちネット 寄居通信『さあ 手をつなご!』はみなさんの支援力がエネルギー源

選挙公報発行条例を求める請願可決

12月議会で 全議員が 賛成!!

HOT NEWS

「寄居町の町長及び町議会議員の選挙公報発行条例制定を求める」請願は、12月議会に紹介議員を9名の議員の方々に引き受けていただき、1710筆の署名とともに提出しました。

結果、2007年12月14日の本会議で全議員の賛成で採択されました。

この請願に署名してくださった皆様、署名集めをしてくださった皆様本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

請願を審議した総務常任委員会でも採択され、「町長選挙、町議会議員選挙を合わせても経費は約100万円程度と見込まれる。決して大きな負担とは言えない。広く有権者に公平な情報が周知され、さらに投票率を上げることも期待できる」といった委員会での賛成理由が述べられました。

でも、請願は自治体の政治、行政

などに言いたいこと、お願いしたいことを議会に直接訴えることができる法で定められた制度ですが、議会で可決されたからといってすぐにその願いや要望がすべて現実化されるわけではありません。

議会は「採択したものを首長やその関係機関に送り、その実現を要望する」ことしか出来ません。

実現まであと1歩!

その後の実現に向けては、民意を高めて、行政が着手する方向への環境作りが必要です。

今後、次期町長選挙と町議会議員選挙の際に選挙公報が私たちの手元に届けられるようさらに要望の声を高く上げていきましょう!! 町長への手紙などの活用も一つの方法です。

08年も手をつなごう

07年の活動テーマとして「ネットの活動を地域に広げる」ためにたくさんの方がかわりやすい活動」を念頭に置きました。見える活動でもありません。今回の請願活動は活動計画の中には具体的には表明されていませんでしたが、町議選立候補予定者への公開質問状が公表できたという(ネット通信 Vol. 15 に仔細掲載)つまずきがバネとなり請願活動がスタート。

この請願はわかりやすい内容ということもあり、ネット会員が主体となってたくさんの方がかわれる運動へと展開することが出来ました。「署名を集めることは一人が一人に言葉掛けをする作業の連続です。

忙しい最中、仕事の合間を縫って署名用紙を埋めて返送してくださった方、わざわざ遠路より世話人宅まで届けてくださった方、提出間際まで署名集めをして届けてくださった方など、本当に本当に元気をいっぱい頂きました。

総数 1710 筆はみんなの結束の重みとしてずっしりと響いてきました。2008年も引き続き手をつないでいきましょう。

大北秀子

12月議会 傍聴レポート



議会の傍聴は おすすめスポット ぜひ体験を!!

「選挙公報発行条例制定を求める」請願の採決に先立ち、12月5日に一般質問も傍聴しました。

議会は一般質問に立った議員が9人。これは寄居町議会はじめて以来の“大盛況”で、質問内容も「スズメバチ駆除」から「小児環境保健疫学調査」までバラエティーに富んだものでした。

今回は、9名の議員（女性議員は3名全員）が質問に立ちました。住民生活の安全や福祉、医療、教育、インフラ整備など質問項目としてはどれも関心の持てるものでした。しかし、質疑応答のやり取りは相変わらずまどろっこしく、睡魔と闘いながらの傍聴でありました。なんとか記憶に残った部分を書き出してみます。

質問事項の全てではありません。質問のキーワードと、答弁の要点を私が勝手に抜き書きしたモノです。（平日の開催では難しいでしょうが・・・たとえ一時間でも傍聴体験を！お勧めいたします）

●こんな質問 こんな答●

- Q) 踏切の整備（事故防止）
A) 鉄道会社に要望していく
- Q) 高齢者や障害者世帯への火災予防、詐欺、孤独死の防止策
A) 民生委員や福祉員などに協力を得つつ社協を中心に対応していくことになろう。
- Q) 安心できる医療体制
A) 診療科の充実をよりい病院へは要請していく。
- Q) 通学路近くのスズメバチ（巣）の駆除
A) 地権者の責任。町の費用負担制度もない。深谷市消防への委託内容に入っていない。

- Q) 若年世代の定住促進
A) 町として積極的な具体策はない。
- Q) サンセット方式（補助金などに終期（廃止期限）を設定する。存続には相応の評価と特別な理由付けが必要。）の導入
A) 方式にかかわらず、これからも結果の精査をしっかりとやっていく。
- Q) 郷土教育の推進
A) 現在でも授業の中に取り入れている。町に関する検定認定などは校内実施適切ではない。
- Q) 新住民の受け入れ態勢
A) 道路整備など地権者のご理解の上で進めていく。
- Q) 町営の産科
A) 採算が合わない。よりい病院へ要望していく。
- Q) 消防行政
A) 災害時など必要に応じて、比企の消防から応援が来る。
- Q) 教育の充実で定住の促進を
A) 校舎改修などハード整備は年々進めている。扇風機の設定、PC教室と保健室のエアコン設置。寄居城北高校（4月開校）との積極的な関係づくりはしていない。
- Q) 小児環境保健疫学調査
A) コホート調査（健康状態の追跡調査。大気汚染などが及ぼす健康への影響を調べる手法）は、国

の要請があれば対応協力していく。

Q) 中学3年時のインフルエンザ接種

A) 家族で予防徹底が基本。助成の考えなし。

Q) 不妊治療助成

A) 今後研究していく。

Q) 荒川北岸（特定か所の）環境整備

A) 不法投棄や猫の問題は当事者に指導、改善した。

Q) 後期高齢者医療制度

A) 一般会計からの繰り入れの考えなし。埼玉県後期高齢者広域連合が運営（保険者）。

Q) 用土小学校の校庭排水整備

A) 調査結果が届いたばかり、これから具体的な検討。丸砂使用は今後検討していく。

Q) 精神疾患による医療費補助

A) 現行の一割負担を継続。

報告：篠原由実子



参加しました

映画とシンポジウム

(彩北ネットワーク 10 主催)「だれもが安心して暮らせる町へ～トータルなケアとは～」は、12月1日(寄居)8日(本庄)で合計約250名の参加を得て無事終了しました。少々感想とともに報告をさせていただきます。

自分の最後はどこで？

在宅ケアに必要な仕組みの課題を指標としてまとめてきたネット10の報告から始まり4時間という長丁場であった。

終末期の在宅医療を国内外で取材したドキュメンタリー映画「終わりよければすべてよし」では、生活のその先に“最期のとき”があるのだとつくづく感じた。その地で、その家で、住み過ごす意味を感じ取れた気がした。その希望を叶えられるのも医療や介護をはじめとする多様なサービスが円滑に提供されるケアシステムがあつてこそである。しかも患者個人の人生を尊重するという理念がケアスタッフに徹底していなければ穏やかに終末期を過ごせるはずがない。映像には、患者に心を寄り添わせプロとして常に適切なケアを考えるスタッフの姿と患者の微笑みが映し出されていた。

在宅医療に取り組む太田秀樹医師が参加者からの質問に答えるという第3部では、在宅医療の醍醐味や日本の医療事情などを聞くことができた。

印象に残ったのは、「生・老・病・死を井戸端会議で明るく語れるような町にならなきゃいけない。」「医療者、市民、制度(行政)の意識が一緒に変わっていか

いと・・・住民も安心して暮らせるために必要なことを行政に提案し続けていくことが大切。」「医療は患者さんの活動を支えるためにある。」「看護師の言葉に耳を傾けていればヤブ医者にならずにすむ(優秀な看護師と訪問看護の仕組みが必要)」等々。

篠原由美子



information

お知らせ

参加しよう 「まちネット寄居」総会

- 1月26日(土)
 - 午後7時30分～
 - 寄居町中央公民館 研修室
 - *会員の皆様*
- 年に1度の総会です。多数のご参加お待ちしております。
日ごろ感じていることなど話しませんか？

安全で最上級の 味噌販売

07年3月に仕込み原材料は安心できるものを使用しました。お味は最高の出来です。
個数に限りがあります。お早めにお申込ください。売上金はネットの活動資金となります。
価格 500g 600円
申し込み先=大北(582-4073)まで



ネット会員募集中 いつでもどうぞ！

暮らしの中で気になっていること何でも話し合いませんか？
問い合わせ・申し込みは
大北 TEL582-4073 まで



編集後記

迎春
穏やかなお正月が明けましたが、皆様お元気で新年を迎えられたことと思います。
先の見えない生活の不安が広がり、あまりにも明るいニュースの少ない日々ですが、今年も皆で力を合わせて、希望の持てるネットの活動を進めて行きたいと思ひます。
皆様の声をお待ちしています。